

令和7年度 新川みどり野高校 年間指導計画(シラバス)

学科	教科	科目(講座名)	対象学年	単位数	教科書	使用教材
普通科・福祉教養科	芸術	音楽Ⅰ	全	2	音楽Ⅰ Tutti+ (教育出版)	なし
学習の到達目標		音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力を次の通り育成することを目指す。 (1) 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。 (2) 自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができる。 (3) 主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。				
学期	月	単元	学習内容		到達度目標(学習のねらい)	
前期	4月	クラスの歌声を響かせよう	姿勢や呼吸などの身体の使い方の技能、他者との調和を意識して歌う技術を身に付ける。		発声の基本を学習するとともに、歌うことの楽しさや、喜びを感じ取ることができる。	
	5月	日本歌曲を歌おう	曲想と音楽の構造や歌詞との関わり・音楽の特性や曲種に応じた発声との関わりについて理解する。		日本語の抑揚や間、語感、歌詞としてのまとまりが旋律の流れやフレーズにどのように表され、曲想を生み出しているかに関心を持ち、主体的に歌唱に取り組むことができる。	
	6月	イタリアの民謡や歌曲 ドイツ歌曲の魅力 英語のライムを感じて フランスの歌に親しもう	外国語の言葉の特性と旋律やリズム、曲の構成などに関心を持ち、自己のイメージを持って歌唱表現を工夫する。		外国語の言葉の特性や曲にふさわしい発声で表情豊かに歌うことに関心をもち、楽しみながら主体的・協働的に歌唱に取り組むことができる。	
	7月					
	9月	音楽史	バロックから古典までの楽曲を成立させた時代の文化・社会などの状況を理解し、様式の特徴を把握する。		各時代における音楽様式の特徴を理解し、その変化や発展の推移を把握することができる。	
後期	10月	物語と音楽との関わりに注目しよう	オペラやミュージカルなどの総合芸術において物語と音楽が関わり合いながらどのような表現上の効果をもたらしているかを考える。		曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わり、言葉の特性と曲想に応じた発声との関わり、曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりについて理解する。	
	11月					
	12月	音楽史	ロマン派以降の楽曲を成立させた時代の文化・社会などの状況を理解し、様式の特徴を把握する。		ロマン派以降の音楽の特徴と表現形式の変化などについて理解することができる。	
	1月	アンサンブルを深めよう	調和のとれた創造的な合奏をする。		各自のパートと他のパートとの調和を考えて表現することができる。	
	2月	音のスケッチ	旋律を変化させてみる。		簡単な旋律をパターンに沿って変化させ、演奏することに主体的に取り組む。	